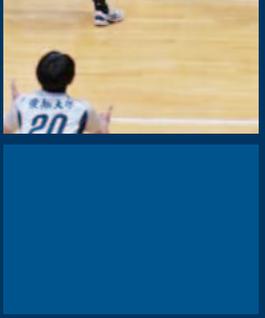
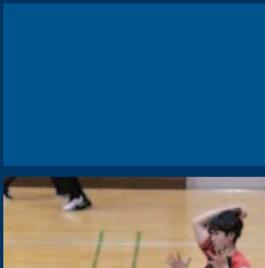


2023年度

(公財)愛知大学教育研究支援財団 奨励賞授与式

後援会奨励賞 同窓会奨励賞 クラブ愛知賞 資格試験合格者奨励賞

愛知大学 公務員試験合格者奨励賞授与式



日時 | 2024年3月2日(土)11:00~12:30

場所 | 車道校舎 本館3階 コンベンションホール

プログラム

- 一. 開式
- 一. 挨拶 (公財)愛知大学教育研究支援財団 理事長 加藤満憲
- 一. 挨拶 愛知大学 学長 広瀬裕樹
- 一. 後援会奨励賞
選考結果報告 愛知大学学生部 委員長 片岡邦好
奨励賞授与 愛知大学後援会 会長 武山卓史
- 一. 同窓会奨励賞
選考結果報告 愛知大学同窓会 広報委員長 小濱 恵
奨励賞授与 愛知大学同窓会 会長 八木好郎
- 一. クラブ愛知賞
選考結果報告及び授与 クラブ愛知 会長 光岡新吾
- 一. 愛知大学公務員試験合格者奨励賞
試験結果報告
愛知大学 キャリア支援センター
委員長 吉川 剛
奨励賞授与 愛知大学 学長 広瀬裕樹
- 一. 受賞者代表謝辞
公務員試験合格者奨励賞受賞者 代表
後援会奨励賞受賞者 代表
同窓会奨励賞受賞者 代表
- 一. 閉式

優秀賞

個人

伊藤 紫織氏 | 法学部3年生

第39回2023年 ACAP 論文賞「消費者問題に関する『わたしの提言』」での入選

推薦趣旨 ACAP（公益社団法人 消費者関連専門家会議）が毎年開催している論文賞「消費者問題に関するわたしの提言」（文部科学省、消費者庁 後援）に伊藤紫織さんの投稿した論文「高齢者に向けた消費者教育に対する提言」が2023年度入選作品として表彰されることとなりました。

同論文賞は「消費生活に関する提言」を募集するもので、1985年から実施されており、今年で39回目となります。投稿資格は、一般・学生（18歳以上）となっており、大学生だけでなく社会人（消費生活相談員という消費者問題の専門家、現役の中学・高校教諭、医師）からの応募があり、例年全国から70件前後の応募があります。

審査形式について、日本消費者教育学会会長が審査委員長を、全国消費生活相談員協会理事長、弁護士、消費者庁審議官、ACAP 理事長の5名が審査委員を務めており、すべての投稿論文について審査を行うことがホームページで公表されています。そして、厳正な審査を行い、最優秀賞「内閣府特命担当大臣賞」1名、優秀賞「ACAP 理事長賞」1名、「入選」4名以内が選出されます。こうしたなかで、伊藤論文が評価され、今年度（2023年度）の「入選作品」として受賞しました。

この結果は、最優秀奨励賞にふさわしいと考えましたので、伊藤さんを推薦いたします。



西澤 伸悟氏 | 経営学部4年生

「かがやけ★あいちサスティナ研究所」第9期生としての活躍と成果発表会での入賞

推薦趣旨 「かがやけ★あいちサスティナ研究所」とは、未来の愛知の担い手となる大学生が、グローバルな視点を持って継続的にエコアクションを実施することができるよう、愛知県が2015年から立ち上げたプロジェクトです。環境面での取組に関する課題に対し、研究員である大学生が現場での調査や企業・団体担当者とのディスカッションをもとに解決策を企業・団体側に提案し、その成果を広くPRします。2023年は16大学の学生40名が、パートナー企業・団体8社から提示された環境課題に対して、現場での調査や企業・団体担当者との協働作業を行い、その成果を発表しました。

西澤君は8のグループのうち「チーム・サンゲツ」に所属し、「サステナブルな社会へ繋げよう！みんな参加型のエコシステムを企画せよ」の環境課題に対して、所属大学が異なる研究員6名の年長者としてチームを導き、6月のオリエンテーションから12月の成果発表会までの半年に亘るプログラムに臨みました。

研究活動としては、サンゲツが発行する膨大な数の「見本帳」について、素材の質感を生かしながら一部をデジタル化して商品をPRする手法と、山積みになっている残部を循環利用する方法を研究し、サンゲツへの提案に至りました。

12月のチーム成果発表においては、アイデアの斬新さにより来場者から評価・選考された「オーディエンス賞」、ならびに提案内容の実現可能性が高いと認められたことにより最優秀に次ぐ「優秀賞」を受賞しました。

これらの実績から地域（愛知県）活動に積極的に取り組み、大学の名誉に大いに貢献したものと判断し、「優秀賞」（個人）に推薦する次第です。

【参考】

チーム・サンゲツの構成：中部大2年、南山大2年、椙山女学園2年、愛知淑徳大3年およびファシリテーター1名（NPO フィトラボ）と西澤君の6名



福田 真子氏 | 経営学部4年生

MOS（マイクロソフトオフィススペシャリスト）世界学生大会2023 日本代表選考会ワード部門 入賞

推薦趣旨 マイクロソフトオフィススペシャリスト（略称：MOS）は、マイクロソフトが認定するマイクロソフトオフィス製品の利用スキルを証明する国際資格である。

福田真子さんは、MOS 世界学生大会2023の日本代表選考会において、入賞（ワード部門）という大変優秀な成績を取めた。MOS 世界学生大会2023では、MOS の試験に合格した高校生以上の学生を対象とし、世界116か国、延べ130万人を超える学生がエントリーした世界規模のパソコン大会である。日本からは、延べ3万9千人がエントリーし、一次選考において入賞者（60名）に選ばれた。その後、学業成績や小論文の提出が求められる二次選考も通過し、14名に絞られた最終選考まで進んだ。

以上より、過去21回を数える当該大会の中で、愛知大学の学生の入賞は初めてであり、愛知大学の榮譽を高めたため、同窓会奨励賞に推薦する。



生田 大地氏 | 経営学部2年生

「IBJJF アジア柔術選手権2023」 2023年7月7日（金）-7月9日（日） 名古屋市開催 成人男性の部・紫帯・ルースター級 第3位

推薦趣旨 生田大地さんは、ご両親が営むブラジリアン柔術場（名称：トラスト柔術アカデミー：瀬戸市：門下生50名以上）にて、4歳のころから同競技に勤しんできました。中学、高校時も部活には所属せず、この競技に没頭しており、現在も週6で競技を続けています。

その成果を活かすべく、23年7月に開催された「IBJJF アジア柔術選手権2023」に出場し、成人男性の部・紫帯・ルースター級第3位という成績をあげた。紫帯とは白、青、紫、茶、黒の段位のため、3番目であるが、年齢や競技期間によるため、現在の年齢では紫帯までとなっている。またルースター級は最軽量（56.7kg以下）を示す。

ブラジリアン柔術は、日本ではあまりなじみのないスポーツかもしれないが、日本よりも人口が多いブラジルでは大変ポピュラー、柔道と異なり寝技が中心で、Google では社内に同クラブを持つなど、これからの注目競技である。

また、イサミ（格闘技ショップメーカー）とスポンサー契約を結んでおり、ユニフォームの提供を受けている。得意技は三角締めで（寝た状態で、自分の足で相手の腕をとる）、相手とのタイミングをはかることを得意としている。

さて、本学に進学したいきさつであるが、両親の門下生集客の様子や収支状況を見る、知ることで、経営/マーケティングに高い関心を抱き、本学の経営学部経営学科を選択した。

入学後は、流通・マーケティングコースに所属、3年次からは土屋ゼミに所属し、国際流通論、小売流通論について深く探求したいと考えている。上記のことから、文武両道を実践し、家族で技術力を向上し、国際大会での実績を高く評価し、生田さんを推薦いたします。



● 功労賞

個人

古澤 真世氏 | 令和3年現代中国学部卒

テコンドー世界選手権大会【プレアレンジド競技】にて日本代表出場ベスト8入り達成！

推薦趣旨 10歳からテコンドーを始め、17歳で黒帯を取得。

18歳で、愛知大学テコンドーサークルに入部。技術指導や後輩育成、数々の大会で入賞を果たし、愛知大学の総合優勝に大きく貢献してきました。

2021年に卒業後も、現役選手として活動を続け、2022年に行われた国内最高峰の試合である【第15回全日本テコンドー選手権】型の部で、第3位入賞。この実績から、日本代表選手に内定し、2023年にフィンランドで行われた世界選手権に出場。

古澤さんは、個人戦だけでなく【プレアレンジド競技】の代表選手としても出場。プレアレンジド競技とは、2人組手演舞形式で、決められた時間内に、テコンドーの動作とアクロバットな要素を取り入れ自由に演舞します。技の正確性や、難易度、構成力、など様々な観点から競います。国際師範である師匠と共に出場し、1年以上かけて構成を練り上げ、毎日3時間以上練習を重ねました。演舞の最後には、日本刀で相手を切るようなシーンを取り入れ、各国から「侍のようだ!」「日本選手の演舞をみて心が熱くなった!」など大絶賛を受けました。

奇しくも、準々決勝にて優勝したチームに敗退しましたが、日本人選手としてベスト8入りを果たしたのは、これまでにない快挙です。これらの実績は、まさに愛知大学の建学誠心に沿ったグローバルな活動であり、テコンドー協会だけでなく大学の名誉を大きく高めたものであり、最優秀奨励賞に値すると確信します。

◆受賞歴◆（2022年以前は省略）

2022年6月 第26回東海大会準優勝（型）・第3位（組手）

2022年7月 第19回愛知県大会優勝（組手）

2022年11月 第15回全日本選手権第3位（型）

2023年2月 愛知県大会準優勝（型、組手）

2023年6月 第27回東海大会準優勝（型）・第3位（組手）

2023年11月 第16回全日本選手権第3位（型）



阿部 亮平氏 | 平成14年法学部卒

俳優、舞台キャスト活動

推薦趣旨

・愛知大学（法学部）では準硬式野球部に所属。第17回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会で優勝した。

・映画、テレビドラマ、V シネマなど幅広く活動。最近ではNHK 連ドラ「らんまん」で阿部は主役の万太郎（神木）が通う大畑印刷所で働く宮本役で出演されています。

・幅広く俳優、舞台キャストとして活躍されていますので推薦いたします。



● 優秀賞

団 体

為廣ゼミナール おにぎり専門店 | 経営学部3年生

名古屋マーケティング・インカレ優勝

推薦趣旨 名古屋マーケティング・インカレは2006年から毎年開催されている、名古屋近隣大学のマーケティング研究を行なうゼミナールが参加する研究発表大会で、学生が大学を越えて交流をもち、研究を深めあうことを目的としています。

2023年度は第17回大会が開催され、5大学（愛知大学、愛知学院大学、愛知淑徳大学、名城大学、名古屋学院大学）8ゼミナールの学生（約150名、32チーム）が参加した。

為廣ゼミでは、毎年、数名のチームに分かれて名古屋マーケティング・インカレに参加しているが、2023年度はこのうちの1チームが最優秀賞（1位）に選ばれた。

このため、優秀奨励賞の対象者として推薦する。

優勝チームの概要は以下の通り。

チーム名：おにぎり専門店

研究テーマ：「原産地をブランドとして活かせる可能性とは？」

メンバー：21M3153 園田 笑加 21M3159 原 康輔（代表者） 21M3205 飯田 穂香 21M3287 大和 もえ



● 功労賞

団 体

為廣ゼミナール なんとかなる入門 | 経営学部3年生

名古屋マーケティング・インカレ準優勝

推薦趣旨 名古屋マーケティング・インカレは2006年から毎年開催されている、名古屋近隣大学のマーケティング研究を行なうゼミナールが参加する研究発表大会で、学生が大学を越えて交流をもち、研究を深めあうことを目的としています。

2023年度は第17回大会が開催され、5大学（愛知大学、愛知学院大学、愛知淑徳大学、名城大学、名古屋学院大学）8ゼミナールの学生（約150名、32チーム）が参加した。

為廣ゼミでは、毎年、数名のチームに分かれて名古屋マーケティング・インカレに参加しているが、2023年度はこのうちの1チームが優秀賞（2位）に選ばれた。

このため、奨励賞の対象者として推薦する。

準優勝チームの概要は以下の通り。

チーム名：なんとかなる入門

研究テーマ：「『ちいかわ』と消費者特性の実証研究 -ブランドとしてのコンテンツ消費-」

メンバー：21M3007 木下 琳々香 21M3030 小崎 健伸（代表者） 21M3175 向井 ひかり 21M3279 間瀬 彩心



Ai-CONNEX 事業「愛大米」プロジェクト | 「愛大米」プロジェクトメンバー(22名)

Ai-CONNEX 事業「愛大米」プロジェクト

推薦趣旨 キャリア支援センタでは「在学生×卒業生×社会をつなぐ」をコンセプトとする Ai-CONNEX (2018年度発足事業)を展開しています。今次、「名古屋市民水田」(名古屋市主催)にて、実際に田植え体験をします。収穫されたお米は「愛大米」プロジェクトとして社会貢献活動および SDGs に資するため、中村区福祉協議会や子ども食堂、養護施設などに寄贈した。

田植え体験は戸田川緑地(名古屋港区)「名古屋市民水田」にて実習した。

参加者は本学学生(別添リスト参照)および教職員有志および卒業生ならびにその家族が参加した。これにより学生は、「名古屋市民水田」に参加した市民および市民団体、名古屋市職員、JA名古屋、田植ボランティアとの協働、さらに本学卒業生の有志との多世代交流(祖父・子・孫を含む)を通じて、食と農、環境問題や子育て、地域交流(ダイバーシティ)、生き物多様性問題など、SDGsに関わる様々な論点(誰一人取り残さない、生物多様性、陸の豊かさを守ろうなど)に触れ、自ら考えて行動する契機となった。

この他にも、本活動をベースに学生は、Ai-CONNEX 事業が展開した第56回蟹江町文化祭茶席(蟹江町・蟹江町教育委員会主催)、「中村公園スタートアップ・プロジェクト(学生×中村区役所×地元振興会)」などにも参加するといった積極性を発揮し、他の学生をも「巻き込む力」、考動力を伸ばしており、キャリア支援センタが掲げる「生きる・学ぶ・働く」を現実の活動として実践している。

社会貢献の観点から、本学学生が活動する新たな学びの場について、「愛大米」プロジェクトを一過性のイベントとするのではなく、継続的活動とするために、Ai-CONNEX 事業「愛大米」プロジェクトに参加した学生が次年度も参加し得るよう、その功労および社会のために何かをなそうとする志について、顕彰することを大いに希望し、優秀賞に該当すると判断し、ここに推薦いたします。

「愛大米」プロジェクト参加学生

4年次：荒木 香耶、西澤 伸悟

3年次：竹内 魁伸、伊藤 蒼、澤田 健吾、宇野 陽向、伊勢 朋香、吉田 真季、伊藤 みなみ

2年次：小嶋 留嘉、小笠原 福太郎、境 美咲、佐藤 琴、加治木 悠人、河邊 朝暉

1年次：林田 遼、古川 愛花、鈴木 琴音、谷村 美羽、山田 翼、都築 快



●クラブ愛知賞

団 体

愛大ささしまエリマネ委員会 |

ささしまライブ地区のにぎわいづくりや課題解決を行う活動

推薦趣旨 愛大ささしまエリマネ委員会は、ささしまライブ地区のエリアマネジメントを行う団体として、2017年4月に発足しました。2017年10月に行われたささしまライブのまちびらきイベントでは、てくてくワールド in ささしまを企画実施した。11月には中村区役所ワークショップへの参加、12月にはささしま地区の保育園との交流を作るためクリスマスイベントを開催する等、ささしまライブのにぎわいづくりに貢献した。近年は近隣のお寺の縁日の手伝い、小学校でポッチャを教える、高齢者にスマホの使い方を教えるなど継続的にボランティア活動を行っている。2023年度は学園祭期間に中川運河の魅力を発信する団体とコラボして、マルシェの出店のお手伝い、名古屋市危機管理局共催で防災イベントの実施の手伝い、運河クルーズ特別運航便の場内アナウンスを担当する等ささしまライブのにぎわいづくりに貢献した。



●同窓会資格試験合格者奨励賞

司法試験



小池 亜也加

2022年9月修了



伊藤 大介

2023年3月修了

公認会計士試験



苅谷 証朋

2022年3月卒業



花田 佳都

2022年3月卒業

国家公務員総合職



長谷川 新太

法学部4年



林 光輝

法学部4年



杉山 未紗

法学部4年



伊藤 美紅

経営学部4年

税理士試験



川瀬 智弘

2019年3月修了

学生教育活動顕彰（後援会奨励賞、同窓会奨励賞、クラブ愛知賞）

概要

愛知大学関係者（教職員、在学生等）および愛知大学の卒業生が、社会・文化・学術・芸術・スポーツ・社会貢献などの分野において活躍し、一定以上の成果をおさめた個人および団体に対し、その栄誉を称え、一層の励みとすることを目的に顕彰する。

給付金額

	（後援会奨励賞）	（同窓会奨励賞）	（クラブ愛知賞）
① 最優秀奨励賞	：100,000円	① 最優秀賞：100,000円	100,000円
② 優秀奨励賞	：50,000円	② 優秀賞：50,000円	
③ 奨励賞	：30,000円	③ 功労賞：30,000円	

*個人には給付金額相当の記念品を贈呈する。

申請時期

1月末まで

（学術・文化の部）

- ① 最優秀奨励賞：
全国的な学術・文化活動並びに大会で特に優秀と認められ、愛知大学の栄誉を高めた個人及び団体
 - ② 優秀奨励賞：
中部、東海地区およびそれに準じた地区大会で優秀と認められ、愛知大学の栄誉を高めた個人及び団体
 - ③ 奨励賞：
上記以外の活動、大会で優秀と認められた個人及び団体
- （スポーツの部）

出願資格

	① 最優秀奨励賞	② 優秀奨励賞	③ 奨励賞
国際・全日本大会（予選あり）	優勝、準優勝、3位	4位～8位	出場者
国際・全日本大会（予選なし）	優勝	準優勝、3位	4位～8位
中部・東海地区大会及びそれに準ずる大会		優勝	準優勝
その他の大会			優勝
マネージャー等			所属部の発展に貢献した者（卒業年次生）

（社会貢献の部）

- ① クラブ愛知賞：
愛知大学に在学する学生や学生達で構成する団体で、顕著な社会貢献活動が認められた個人及び団体

必要書類

奨励賞推薦書

決定方法

後援会奨励賞は、愛知大学の教職員で構成される選考委員会（学生部委員会または運動部長協議会）にて選考し、愛知大学教育研究支援財団に出願された書類をもとに本財団の選考委員会で審査を行い、決定する。
同窓会奨励賞は、愛知大学同窓会より推薦のあった候補者を本財団の選考委員会で審査を行い、決定する。

同窓会資格試験合格者奨励賞

概要

愛知大学教育研究支援財団が決めた資格試験（司法試験、公認会計士試験、弁理士試験、国家公務員総合職試験、司法書士試験、税理士試験）に合格した者に対して表彰し記念品を贈呈する。

金額

30,000円相当の記念品

出願資格

愛知大学（大学院、学部、短大）に在学中または卒業した者で、当該の資格試験に今年度もしくは前年度中に合格した者

必要書類

- ① 資格試験奨励賞申請書
- ② 当該の資格試験に合格したことを証明する書類（写し）
- ③ 在学証明書または卒業（修了）証明書

決定方法

出願された書類をもとに、愛知大学教育研究支援財団での審査を経て決定する。